



小国中だより

小国町立小国中学校
平成30年2月6日
文責 八木幸夫

生徒会まとめの活動

～有終の美を目指して～

2月6日(火)、1, 2年生の合同集会が行われ、1年をしっかりと締めくくるため各委員会、自治会の取り組みが報告されました。すでに取り組みが始まっている委員会もあり、取り組みを通して、小国中生全員が有終の美を飾れるよう、意識を持って取り組んで欲しいと思います。各委員会、自治会の取り組みを紹介します。

担当	取り組み内容
執行部 杉山綾汰 生徒会長	あいさつ運動の実施(2月7日～14日) 場所: 1階東階段、階段 2グループに分かれて行い、あいさつの良い人、あいさつを返してくれた人の人数を集計して数値化して向上を目指します。
生活委員会 齋藤星奈 委員長	服装・頭髪点検の実施(2月9日～13日) 朝の会で服装・頭髪点検、終りの会で運動着点検を行います。自分の服装、頭髪を見直し、しっかりとした生活をしよう。
文化委員会 大久保南美 委員長	チャイム着席の呼びかけ、点検の実施 授業前の着席の呼びかけを行います。着席できない人をチェックします。自分で意識を持って着席できるようにしよう。
放送委員会 伊藤玲奈 委員長	明るい声での聞き取りやすい放送 委員会でアナウンス練習を行います。2月後半から3月にかけて、卒業に関する特集放送を行います
図書委員会 寒河江 凜 委員長	3000ページ達成者を増やします 朝読書後の読書ノートの記入、読書の呼びかけ、グラフの記入などを行い3000ページ達成者を増やします。
保健委員会 舟山若葉 委員長	生活リズムを整え、風邪に負けない強い体を作ります 生活リズムチェック(2月7日～13日): 早寝・早起き・朝ご飯 風邪予防ポスターの作成・掲示
美化委員会 横山康生 委員長	集中して清掃に取り組める環境作り 手ぬぐい着用を呼びかけ、無言清掃を委員各自が率先して取り組みます。できていない人には注意します。

* 日常的に行っている活動を重点化し、意識して取り組むことで規律意識を高め、いい意味での緊張感の中で、1年を締めくくろうというねらいがあります。2年生中心の新生徒会のやる気があふれています。

【裏面に続きます】

担当	取り組み内容
体育委員会 齋藤詩音 委員長	部活動時間を守りましょう 部活動の開始が早くなるよう、委員が最後まで残って呼びかけを行います。
給食委員会 石塚 愛 委員長	全校生が毎日の給食に感謝の気持ちを持ちましょう 残食点検、給食準備強調週間を実施します。委員同士で呼び掛け合い、自分の仕事をしっかり行います。
2年自治会 齋藤兼信 自治会長	3年生になるまで学習への意識を向上する 全員が家庭学習目標時間の48時間を達成できるよう、班競争で取り組みます。級長が呼びかけ、点検し廊下の記録用紙に記入します。
1年自治会 舟山 暁 自治会長	2年生に向けて、1年生全員が当たり前前を当たり前にする 「どんな学年にしたいか。」「どんな2年生になりたいか。」アンケートをとり、それをもとに一人ひとりの目標決めて活動します。

*学年自治会は、4月の進級を見通して3学期を次の学年の0学期と位置づけ、進級のための構えづくりに取り組もうとしています。



*新執行部は小国小との合同あいさつ運動にも取り組みました。

自分たちの生活は自分たちの意志と行動で改善に努力するのが小国中学生徒会の目指す姿であり、伝統です。小国中生一人ひとりの取り組みへの努力を期待します。

3年生は、中学生活のラストスパート、受験を終えた人は、高校生活に備えてしっかりと力を蓄えなければなりません。高校合格は、通過点であり、ゴールではありません。今まで以上の緊張感を持って学習に取り組んで欲しいと思います。これから公立高校の入試に向かう皆さんは、不安になることもあるでしょう。そんな時こそ、当たり前前を当たり前にする、生活のリズムを崩すことなく、普通の生活をおくることが大切です。

残りわずかな中学校生活を、これまでと同様に十人十色の仲間を思いやりながら、大切に生活して欲しいと願っています。

小国中生への期待

県中体連から平成29年度～30年度体育スポーツ優秀指定選手として4名が指定を受けました。益々の活躍が期待されます。

陸上競技

今 順聖 君 (2年)

齋藤兼信 君 (2年)

バドミントン

齋藤和花 さん (2年)

瀬斎さくら さん (1年)



小国中だより

小国町立小国中学校
平成30年2月8日
文責 八木幸夫

本を読む



読書サポーターによる読み聞かせ 2/7

2月7日(水)、朝読の時間を活用して今年度3回目の読み聞かせをおこないました。読書活動サポーター、岩沢ちかさん、加藤美恵子さん、今野美喜子さんの3名が2年生3クラスにわかれて、絵本を楽しく読み聞かせてくださいました。優しい声を通して物語に触れる貴重な機会となりました。

読み聞かせというと、子どもを対象にした活動のように考えがちですが、最近では「読み聞かせカフェ」など、大人を対象にした読み聞かせを行うお店もあるようです。心の癒やしやストレス解消に訪れる人も多いとのこと。

小国高生のおすすめ図書

- 「告白」 湊かなえ 著
- 「ハナミズキ」 吉田紀子 著
- 「看護婦が見つめた人間が死ぬということ」
宮子あずさ 著
- 「言葉で治療する」 鎌田 實 著
- 「こころ」 夏目漱石 著
- 「マララ Malala」
マララ・コスブサイ、パトリシアマコーミック 著
道傳愛子 訳
- 「犬がくる病院」 大塚敦子 著
- 「イニシエーションラブ」 乾くるみ 著
- 「シーラという子」 HK.L. ホールディング 著
入江真佐子 訳
- 「自分の顔は好きですか」 山口真美 著
- 「マンボウのひみつ」 澤井悦郎 著
- 「神様の御用人」 浅葉なつ 著
- 「カエルの楽園」 百田尚樹 著
- 「目を閉じて心開いて」 三宮麻由子 著
- 「虹色チョーク」 小松成美 著
- 「いしゃ先生」 あべ美佳 著
- 「高校生活100のアドバイス」
東海林 明 著
- 「トイレの神様」 植村花菜 著
- 「半落ち」 横山秀夫 著
- 「夜のピクニック」 恩田 陸 著
- 「自分の木の下で」 大江健三郎 著
- 「料理の仕事がしたい」 辻 芳樹 著

他17作品

小国高校との読書活動交流の一環として、小国高生のおすすめ図書を紹介するポップの展示をおこなっています(3階廊下)。本の内容をわかりやすくまとめた内容になっており、さすが高校生という感じです。紹介されている本も高校生らしく、ちょっと大人びた作品が多いような気がします。本校の図書館にある作品は少ないようですから、興味のある人は本屋を訪れた機会に手に取ってみてはどうでしょうか。

図書委員会では、3000ページ読書を目指し、現在取り組みを進めています。2月8日現在、目標ページ数達成者は次のような人数になっています。

1年1組	7名
1年2海	6名
2年1組	3名
2年2組	9名
2年3組	5名
3年1組	2名
3年2組	8名



スキー授業実施しました

指導へのご協力ありがとうございました

1月下旬から3週間にわたって1,2年生のスキー授業を行いました。天候には恵まれなかったところもありましたが、生徒達は雪国の子どもらしく、吹雪の中も元気にスキーに取り組みました。

本校職員3名に加えて、スキー連盟ほか外部指導者の皆さん、保護者の皆さんのご協力をいただきました。心から感謝申し上げます。

スキー授業の終了に伴って、スキー用具の持ち帰りについてご協力をよろしくお願いいたします。

スキー授業指導協力者

【スキー連盟】

伊藤健二さん 齋藤良行さん 那須野政夫さん
舟山勝夫さん

【外部指導者】

齋藤晃司さん 鈴木良典さん 横山隆蔵さん
渡邊悦子さん 渡辺重信さん

【2年生保護者】

大津雅浩さん 貝沼紀子さん 齋藤 敦さん
齋藤秀隆さん 佐藤道信さん 舟山俊喜さん

【1年生保護者】

穴沢洋一さん 佐藤秀樹さん 舟山重浩さん
渡部一紀さん 渡部宏行さん

ご協力ありがとうございました。

全校テストの結果を振り返る

本校では各教科の基礎的事項の定着と家庭学習の活性化等をねらいに、全校テスト実施しています。これまで、国語（漢字）、社会（基本用語）、英語（英単語）の3教科について実施してきました。努力を賞賛し、それぞれ満点賞、達成賞（80点以上）を授与することにしています。全体として、家庭学習での練習にしっかり取り組めた人が多く、達成賞にあと一歩だったという生徒も多く、努力の跡がうかがえる結果となりました。

		国語	社会	英語
1年	満点賞	23人	18人	9人
	達成賞	25人	24人	17人
2年	満点賞	29人	14人	23人
	達成賞	30人	40人	37人
3年	満点賞	34人	25人	12人
	達成賞	15人	17人	27人

基礎的な事項は暗記が必要です。教科を問わず、繰り返しの練習、ドリルが大切です。たとえ短時間でも、毎日練習することが大切です。

1,3年生は英単語を苦手としている傾向が見られます。単語の覚え方を先生に質問するなどして、覚え方を工夫する必要があるようです。





小国中だより

小国町立小国中学校
平成30年2月19日
文責 八木幸夫

頑張りを認めます 小国中学校表彰規定

3学期も残り1ヶ月を切り、平成29年度もいよいよゴールが近づいてきました。本校では、1年間の学習、文化活動、体育活動、出席状況、読書量などの小国中生の努力を認め、賞賛するために、学校表彰を行っています。今年度も、様々な分野で多くの人とその努力を認められ、表彰されることを期待しています。本校の表彰実施要領は以下のようになっています。

小国中学校表彰実施要領

1 目的

- (1) 本校生徒で、学業に精励し、顕著な功績があり、または他の生徒の模範として推奨すべき業績・善行を表彰することにより、本校生徒が学校生活で意欲的に活動する自覚を高め、本校教育の進展を図る。
- (2) 本校教育に貢献された方を表彰することにより、感謝の意を伝えるとともに、地域に根差した教育の継続と進展を図る。

2 審査及び決定

この基準は、当該年度の生徒の活躍の実体を考慮し、教務部で基準案を作成し職員会議にはかり、学校長が決定する。

3 内申基準

(1) 号 栄光賞（表彰状）

- ・ 全国大会入賞又はベスト8以上、東北大会優勝、
 - ・ 吹奏楽コンクール、その他文化面は上記に準ずる場合（弁論大会、英語スピーチコンテスト、ポスター・絵画のコンクール等）東北大会最優秀賞以上
- ※全国大会優勝等が出た場合、その当該年度に表彰内容を検討し表彰する。

(2) 号 殊勲賞（表彰状）

- ・ 県中体連大会優勝・県中体連新人大会決勝大会優勝、東北大会3位以上
- ※団体優勝の場合、その当該大会のエントリー選手を対象とする。
- ※マネージャーやエントリー以外の選手で、特に貢献のあった生徒には賞詞をおくる。
- ・ 吹奏楽コンクール県大会金賞（東北大会出場）
 - ・ 文化面で県最優秀、東北・全国で上位入賞等と判断できる個人・団体

(3) 号 奨励賞（表彰状）

- ・ 県中体連大会入賞、県新人南ブロック大会や決勝大会入賞した団体、個人
- ・ 文化面で県大会上位入選・入賞等と判断できる団体・個人

(4) 号 特別活動功労賞（表彰状または賞詞）

- ・ 生徒会正副会長・正副議長・専門委員長・正副応援団長・級長・学年自治会長・地域活動やボランティア活動等で、意欲的な活動が認められる生徒
- ・ 組織的に行った実績が認められる生徒。(例)：人命救助、継続的なボランティア等については表彰状を送る

【裏面に続きます】

(5)号 学習優秀賞(表彰状)

- ・9教科の学年評定合計が42以上で、授業への参加態度が他の模範となる生徒

(6)号 学習向上賞(表彰状)

- ・前年度の評定合計より6以上向上した生徒で、授業への参加態度が他の模範となる生徒

(7)号 読書量達成賞

- ・「読書量学校目標ページ達成賞」「読書量3000ページ達成賞」等

(8)号 皆出席賞(表彰状)

- ・3年間無欠席の生徒に皆出席賞をおくる。
- ・1年間無欠席の生徒に皆出席賞をおくる。ただし、3年間無欠席の生徒は除く。
*忌引き、伝染病等による出席停止は含まない。また、遅刻の常習者は対象としない。

(9)号 特別賞(賞詞)

- ・上記の各号以外で顕彰にふさわしい活動や成績をあげた生徒。

(10)号 功労賞(感謝状)

- ・部活動コーチで中体連県大会優勝以上に貢献し、本校学校経営に貢献した方
- ・部活動コーチとして長年にわたり指導に従事し、本校学校経営に貢献した方
- ・学校サポーターなどで長年にわたり、本校学校経営に貢献した方

※上記以外に該当する表彰がある場合は、その都度考慮する。

皆出席賞は重みのある特別な賞だと思います。自分自身の登校への強い意志と家族のサポートがなければできません。今年度、本校の欠席ゼロの日は2月19日現在で7日しかありません。

キラキラッとアートコンクール授賞式



題:「サクラきれい!」

学校だより11月10日号でも紹介しましたが、第16回キラキラッとアートコンクール(三菱地所主催・文部科学省後援)において伊藤沙雪さん(2年4組)が全国優秀賞を受賞しました。2月16日(土)、東京丸の内の丸ビルホールで授賞式が行われ、沙雪さんが保護者の方と、表彰式に臨み、賞状を授与されました。緊張しながらも、呼名にも元気よく返事をし賞状を受け取りました。

後援会地区代表委員会が行われました。

2月16日(金)学校後援会地区代表委員会が開催されました。今年度の活動報告、会計中間報告及び来年度の計画について承認されました。今年度は本校70周年の記念講演を賛助いただいたほか、例年と同様、学校運営、生徒活動への手厚いサポートをいただきました。賛助会員としてご協力をいただいた地域の皆様に心から感謝申し上げますとともに、役員として活動いただきました皆様に重ねて感謝申し上げます。

現在、各地区で来年度の役員選出が行われております。ご協力をいただきますようお願い申し上げます。



小国中だより

小国町立小国中学校
平成30年2月26日
文責 八木幸夫

『あいさつ』

あたたかな思いを伝えること

2学年自治会が『OGN21』とネーミングしたあいさつの活性化運動に取り組んでいます。気持ちの良い挨拶ができる人BEST21を選出する取り組みで、生徒と先生方の投票によって決定すること。2年生のあいさつを向上させ「誇り」となるものを作り、2年生から小国中の挨拶の良さを発信しようというものである。昨日はのべ8名の2年生が「校長先生に挨拶にきました。こんにちは。」と校長室を訪れてくれた。元気のいいあいさつに心が和むひとときでした。

あいさつはあたたかな思いを相手に伝えるメッセージです。自分からあいさつをすることは、「私はあなたを大切に思っています。」というメッセージを相手に贈ることです。あいさつを交わすことは、お互いが「あなたを大切に思っていますよ。」というメッセージを贈り合うことです。自分が大切にされて気分の悪い人はいません。だから、元気のいい挨拶をされると気分がいいのです。家族や地域の皆さんが、「小国中生のあいさつから元気をもらえます。」と言ってくれるのもこの理由からです。

話すことが苦手な人でも、人見知りな人でも、一言、「おはよう。」「こんにちは。」とあいさつしてみましょう。自分のあたたかな思いを伝える努力をしてみましょう。あいさつはコミュニケーションの入り口になるはずです。

小国中生徒会の活動の3本柱の1つが「あいさつ」です。お互いが相手の立場を尊重し、思いやりを持ちながら生活することのシンボルとして「あいさつ」が大切にされてきたのです。3年生から、小国中のバトンを引き継ぐ2年生が、今あらためてあいさつの活性化に取り組むことには大きな意義を感じます。



半田俊一教頭先生は、毎朝街頭に立って登校してくる小国中生、小国小児童を見守りながら、あたたかなあいさつをしてくれます。暑い夏の日も、吹雪の冬の日も、それはかわりません。教頭先生の朝のあいさつは、深い愛情のメッセージです。そして、教頭先生に返される小国中生の元気のいい「おはようございます。」は、教頭先生の大きなエネルギーになっているに違いありません。 教頭先生、毎朝ありがとうございます。

校門の所では3年生があいさつ運動に取り組んでいました。さわやかな笑顔のあいさつに元気をもらいました。ありがとう。

社会福祉協議会だより『あおば』に本校生徒会の赤い羽根学習会が紹介されました。

小国中学校 赤い羽根学習会



共同募金運動の
シンボルキャラクター
「愛ちゃんと希望くん」



学習会



伝達講習

11月21日、小国中学校生徒会で赤い羽根学習会が行われました。社会福祉協議会職員から赤い羽根募金のねらい、集められたお金の使われ方などを説明し、その後、理解を深めた生徒会役員が資料を作り他の生徒に伝達講習が行われました。

町内の学校が比較的参加しやすい募金運動をすることによって、「なぜ募金活動をする必要があるの?」「集まったお金はどうなるの?」「どんなところで役立っているの?」を子どもたち自身が学習し、さらに地域の様々な人の暮らしを考え、思いやりの心を育てていくことを期待しています。

社会福祉協議会だより『あおば』No. 151 より

進路あれこれ

3月10日(土)の公立高校受検に向けて、願書の提出が昨日締め切られ、各校の志願倍率が発表になりました。全県的にはやや広き門となったとはいえ、米沢興譲館高校、米沢工業高校、長井高校は総合倍率で1倍を超えています。また1倍を下回った学校でも、一定の成績を収めなければ不合格となる場合もあります。受検の厳しさはかわりません。一般入選に立ち向かう3年生は不安を持ちながらも、努力を継続しています。この時期にきてインフルエンザB型に感染する生徒が少しずつですが増えている状況があり、心配しているところです。健康管理には十分に注意してラストスパートに入って欲しいと願っています。感染して休んでいる生徒は、決して焦る必要はありません。まずは、体調を整えることです。

2年生は今日、実力テストを実施しました。2年生終了段階での、5教科の総合的な力を試すとともに、3年生進級後に繰り返し取り組むことになる実力テストに慣れることが目的です。実力テストの結果を基に、春休みの学習を計画的に進めて欲しいと思います。

また、2年生は3月9日(金)の午後、親子進路学習会、立志式を行います。自分の進路選択の帰路となる3年生への進級を前に、山形県の入試制度への理解を深め、進路実現に向けての意欲を高めることが目的です。多くの保護者の皆さんにご参加いただきますようお願いいたします。

1年生は1月31日(水)、実力テスト行いました。テスト結果を参考に、各教科で最後の学習のまとめに入っています。2月23日(金)には職業講話を実施し、働くことの意義について学ぶとともに、今頑張るべきことについて考えました。現在、ご家庭には進路希望調査をお願いしております。お子さんとの進路についての話し合い、よろしくお願いたします。